

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



2014/08/02

鈴ヶ沢高原温泉からアノ白神カキリリゾート  
 かりゆしへの出発  
 千畳敷駅へ深浦駅までの乗車。  
 車内から撮る景色は極の醍醐味。  
 右に日本初在に白神山地。  
 滑軽といえは北国である。人々はみな無言で  
 隣りしける雪のなが津軽三味線に

北に向かえば失意、北から南へ向かえば  
 希望という図式、憂鬱的情緒が北に  
 たどり着き残されて今時代を生きる  
 ティースのある旅  
 きき踊ろと  
 青森ねぶた祭り  
 秋の竿燈  
 五能線にも  
 のりました。

風景はモノトーンでその  
 の季節の代表は冬であ  
 る。石川さゆりの津軽  
 海峡冬景色  
 上野発初行列車降り時  
 から青森駅は雪景色  
 五能線とは違ッがこの  
 冬景色も涙歌の詩が  
 生まる環境にある。  
 “ふよふよあなは私を帰  
 ます。風の音が胸を叩  
 する。泣けとばかりに”  
 “あり津軽海峡冬景色  
 こは日本海千畳敷駅  
 から見える景色は来て  
 まかた。こはやはり冬  
 の詩が完成するもヒコウ  
 作詞阿久悠作曲三木鶏  
 秋になると聴きたくなる  
 ものそれが涙歌。やはり  
 涙歌には北と雪とかが  
 似合うようだ。



2014/08/03



2014/08/02

この場所では軒の本店がある  
 焼イカがおいしい焼イカを買った  
 何を右手に早くも焼イカがある  
 焼イカを右手に早くも焼イカを買った

いい日旅立ち 山口百恵  
 重くけまわりの北の空に何い  
 道にまきし日暮の夢を叫びさ  
 帰らぬ人なりあつ胸をまさる  
 せめて今身からひとりきり旅に  
 出るなあ。日本あどこかに  
 わたしを待てる人かいるか  
 作詞作曲谷村新司  
 木綿のハンカチーフ 太田裕美  
 せよよよぼくは旅立つ  
 車へと向う列車ではほなや  
 のが街で君への贈りもの  
 揺す揺すもりた  
 いえあなはなは笑しつも  
 のはなりのまに顔の絵の  
 具に染まらなで帰す  
 染まらなで帰す  
 作詞松本隆 作曲筒美京平  
 地図を測りて、カル線の写真  
 を見て雪の風景を頭に入れて



2014.08.03



2014.08.03

寒い部屋と  
 暖かい  
 列車からの眺め。普通座席  
 列車から見る風景とれません。  
 いかにいいね！ピーカンです。